

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-V-5

4-V-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	エコツーリズムの啓発
	節 V. 来訪者マナーの醸成			
事業(施策)名	5 エコツーリズム普及啓発		事業主体	佐渡市観光振興課
			関連団体	県観光振興課、新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光振興課、県観光協会、佐渡観光協会
事業実施期間	H28～H34			
事業概要	【事業目的】 ○ 自然環境や歴史文化など地域固有の魅力を来訪者に伝え、その価値や保全の大切さについて理解促進を図る。			
	【事業内容】 ○ ホームページや各種リーフレットのほか、旅行代理店等への働きかけによってエコツーリズムの普及を図る。			
事業実績	【事業成果】 ● トレッキングマップや総合パンフレット「佐渡さんぽ」では、トレッキング等におけるマナーを佐渡トレッキング協議会と連携し、啓発に努めているが一般観光客に対しては来訪者の道徳心に委ねている状況。			
	【課題】 ■ 一般来訪者のうち、特にフリーで来られる来訪者に”規制”というふうに見えないような周知の方法への検討。			
今後の取組・課題	【今後の取組】 ■ 自然や歴史に触れる体験メニューの拡充を図る。			
	【事業の達成度】 [a (b) ・ c]			
事業評価	【事業実施の効果】 [a (b) ・ c]			
	【総合評価】 [A (B) ・ C]			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。